

採用試験の主な変更点【全職種にテストセンター枠を新設】

令和6年度

令和7年度

令和8年度

SPI増設

SPI試験枠

上級行政

上級行政（経験者枠）

中級事務

拡大

SPI全職種で展開

SPI試験枠

一部を除く全職種※

※土木・建築については
従来どおりの筆記試験のみ

維持

テストセンター全職種で新設

SPI試験枠

一部を除く全職種※

※土木・建築については
従来どおりの筆記試験のみ



筆記試験

全職種



筆記試験

全職種



筆記試験

全職種



テストセンター枠

一部を除く全職種※

※土木・建築については
従来どおりの筆記試験のみ

公務員に興味を持つ人へできる限り門戸を広げ、多様な人材を集めることを目的に、特別な筆記試験対策を必要としないSPI試験枠を令和7年度に引き続き、ほぼ全ての職種に試験枠を設けます。

また、受験者の利便性向上を目的に、試験会場を受験者の都合で選択ができ、試験日時も柔軟に選択できるテストセンター枠をほぼ全ての職種に試験枠として新設します。

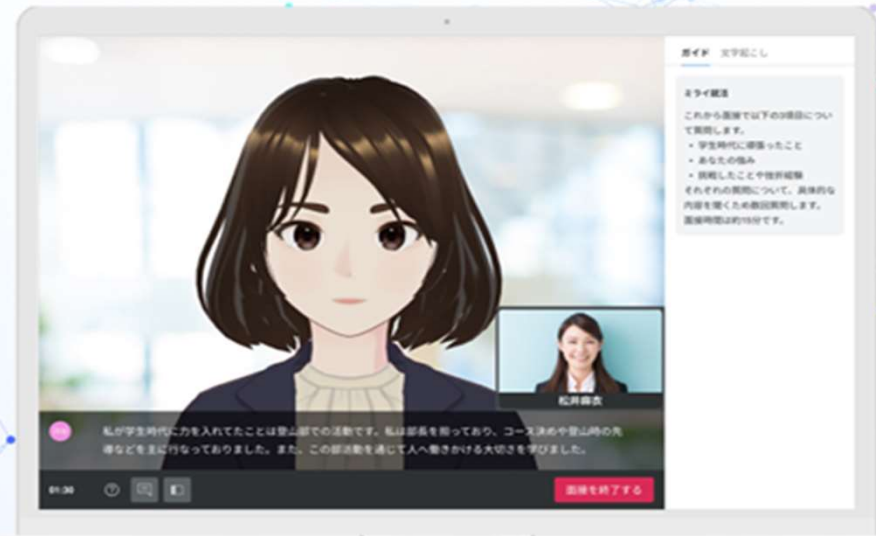
さらに、職種ごとの年齢資格上限を引き上げます。

採用試験の主な変更点【AI面接導入】

対話型AI選考システム

harutaka AI面接

応募者の魅力を引き出す、
新しい選考の選択肢



■塩尻市の職員採用にあたっては、受験者目線で考える受験しやすい環境「受験者ファースト」という考えのもと、これまで採用手続きの完全オンライン化による手書き書類の廃止や録画動画を活用したAIによる感情解析の導入で性格診断テストを廃止する等の日本最先端の地方公務員採用となる取り組みを行ってきました。

この度、さらなる「受験者ファースト」推進のため、対話型のAI面接を受験申込段階で利用できるよう導入します。

【導入ポイント】

- ▶▶▶ 受験者が何回でも面接のやり直しが可能で、面接練習の機会として活用できます。
- ▶▶▶ 面接結果がフィードバックレポートとして受験者に通知され、良い点・改善点を知ることができます。
- ▶▶▶ 受験者と対面で面接できる時間は限られているので、よくある質問をAI面接で事前に聞いておくことで、対面の面接ではより深い話をすることができ、双方にとって満足度の高い面接を行うことができます。